

ときがわ 散歩

絵・文／大島都幾枝さん（大字本郷出身）



冬いちご（大字大附地内）

冬いちごは、その名のとおり11月から12月にかけて赤い実をつける。葉っぱの陰に隠れるように結実しているので、気づきにくいかもしれないが、山道を歩くと、町中どこでも目にすることができる。この絵は弓立山の山頂近くで描いたもの。何回かスケッチに通っていたら、ある日突然、実がひとつ残らずなくなっていた。熟したおいしい実を食べつくしたのはナニモノ？



【編集後記】 今月号の特集は「可燃ごみを減らせ！」。つい、何でも可燃ごみにしてしまいがちですが、ごみにはきちんと種類があります。可燃ごみも燃やさない時代です。「燃えそうだから可燃ごみでいいや」という「消極的可燃ごみ」でなく、「これは可燃ごみの分類だから仕方ない、可燃ごみに捨てよう」という「選択的可燃ごみ」にしていきたいですね。私は今年の大掃除で、趣味関連の「過年ごみ」を「萌えるごみ」「萌えないごみ」に分別しようと考えています。萌えないごみ、あるかな…。【保坂】

